

防災のポイント③

糸魚川市駅北大火のような災害は、いつでもどこで起きてもおかしくありません。いざという時に自分の身を自分で守れるように、また、少しでも災害を防ぐことができるように、日頃から防災知識を蓄えていきましょう。

大火に耐えた樹木たち

糸魚川市駅北大火の被災エリア内には、大きな公園緑地や街路樹はありませんでした。家屋等と同様に樹木も被害を受けましたが、被災直後の調査では「346本」もの樹木が残存していました。また、加賀の井酒造周辺の林では、焼け残った土蔵などから判断して、土蔵の落葉樹(ケヤキ、イチヨウ)の枝と、常緑樹(クロマツ、マサキ、ツバキ)の葉による遮熱、火の粉の飛散防止機能があったと考えられています。「大火を防ぐまちづくり」の一環として、防火・延焼対策と緑化推進のため『植樹・植栽』を地域でも考えていきましょう。

※出典:兵庫県立淡路景観園芸学校/兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科の調査資料より

大火において激しい炎を受けながらも、樹木自体の豊富な水分によって「防火能力」を発揮していた!

残存した樹木

- 高木類…クロマツ、イチヨウ、ケヤキなど 16種40本
- 中木類…マサキ、クロマツ、モチノキなど 23種47本
- 低木類…マサキ、ツツジ類、バラ類など 51種259本

※調査日 2017年1月8日、9日 ※樹種、本数は暫定



REPORT

～イベントの様子を振り返る～
2018年3月18日(日)

糸魚川復興「メギス祭り」

特産のメギスを主役にしたイベントが、にぎわい創出広場で開催されました。様々な出店者がメギスを使ったグルメを販売し、家族連れなどでにぎわいました。糸魚川うまいもん会が募集した「メギスオリジナルキャラクター」のPRキャラクターに木島さつきさんの「めぎすきー」が選ばれました。作品への思いについて「めぎすの口にハートを付けて、たくさんの人たちに大好きになってもらえるようなキャラクターにしました」と笑顔で話していました。特別賞として新潟県糸魚川地域振興局長賞を受賞した原治永くんは「楽しんでキャラクターの絵を書く

(右)採用作品「めぎすきー」
(下)表彰される木島さつきさん(糸魚川小4年)



ことができました。メギスは意外と好きです」とはにかみながら話してくれました。会場付近の雁木内では、応募作品を3月末まで展示。訪れた人は、子どもたちの感性が光る作品を見上げながら、雁木の下を楽しんで歩いていました。

復興や防災にまつわる News

NEWS 01 林野火災訓練の実施

4月8日(日)午前9時から青海地域高畑地内で、林野火災を想定した訓練を行います。自主防災組織や地区住民も参加し、住民の避難誘導、火災の鎮圧活動、各関係機関との連携強化について確認をします。

NEWS 02 「泉家」さんが営業を再開

「そば処泉家」が3月22日から営業をスタートしました。当面は品数を限定して営業し、今後は出前にも対応予定とのこと。被災前と変わらぬ味を楽しむことができます。